# 2026 動物感謝デー in JAPAN
# “World Veterinary Day”

開 催 趣 意 書

令和８年４月

公益社団法人　日 本 獣 医 師 会

2026 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”

# 趣　旨　と　目　的

私たちが飼育する様々な動物たちは、①動物性たんぱく質の供給源として、また、②家族の一員、生活の伴侶として国民生活に貢献するとともに、最近では、③補助犬等の介護・福祉分野や、学校での動物飼育を通じた教育分野に対する貢献、更には、④野生動物の生物多様性の確保・自然環境保全のモニターとしての役割や、⑤動物介在療法（アニマルセラピー）や災害救助犬の活躍といった人の健康や生命を守る役割を果たす等、国民にとって身近でかけがえのないものとして、その存在と位置づけが大きく変化し、クローズアップされてきています。

一方、獣医師は、動物に対する医療の提供はもとより、畜産物の生産から流通に至る安全性の確保と生産性の向上、人と動物の共通感染症の防疫、医薬品の開発･研究、獣医学の教育･研究、動物福祉・愛護、野生動物保護管理等、実に多岐に渡る役割を担い、その社会的責任と寄せられる期待はさらに高まっています。

日本獣医師会は、こうした社会的要請や期待に応え、獣医師及び獣医療の質の向上をすすめていくためには国民的理解が不可欠であると考え、動物の果たす社会的役割及びそれを飼育することの重要性、また、動物の健康を支える獣医師の役割とその活動の実情と多様性を広く国民の皆様に普及・啓発するイベントとして「動物感謝デー　in JAPAN“World Veterinary Day”」を 2007 年から継続して毎年秋に開催しています。

このイベントはまた、獣医師の役割の理解向上を目的に世界獣医師会（WVA）が各国での開催を提唱している「World Veterinary Day」

について、WVA 加盟獣医師会である日本獣医師会が開催する日本イベントとしての役割も併せ持っています。

日本獣医師会が獣医師会活動指針に掲げている「―動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。―」は、動物と人、及びそれを取り巻く環境（生態系）の健康は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が密接に協力・連携して課題の解決にあたるべきとの考え方である、マンハッタン原則に基づく「One Health」の理念に基づいています。

世界的パンデミックとなった動物由来のウイルスに端を発するといわれている新型コロナウイルス感染症は社会生活に多大な影響を及ぼしました。また、高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まっています。2012 年 10 月に世界医師会（WMA）と世界獣医師会（WVA）は、この「One Health」の理念に基づき、協力関係を構築する旨の覚書を締結しました。

日本獣医師会においても、2013 年 11 月に日本医師会との間で「公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会の学術協力の推進に関する協定書」を締結し、医師と獣医師の連携・協力のもと安全で安心な社会の構築に向け力を尽くしているところです。

2016 年 11 月には、福岡県北九州市において世界各国の医師・獣医師等が参加して開催される第 2 回世界獣医師会－世界医師会“One Health”に関する国際会議の翌日に、動物感謝デーが近隣会場にて開催され、大きな注目を浴びました。また、2022 年 11 月には福岡県福岡市において、第 21 回アジア獣医師会連合（ＦＡＶＡ）大会が「アジアからのワンヘルスアプローチ」をテーマとして開催され、藏内勇夫日本獣医師会会長が FAVA 会長に就任いたしました。

さらに、2024 年 2 月には、二年ごとに実施される世界獣医師会（WVA）の次期会長選挙において、日本人として初めて藏内会長が当選を果たしました。WVA の役員として、次期会長、会長、前会長それ

ぞれ2年間、計6年間の任期を務めることとなり、2024年4月16日に南アフリカで開催されたWVA総会にて正式に次期会長に就任いたしました。

そして、2026年4月21日から24日に第41回世界獣医師会大会が東京国際フォーラムで開催されました。

人と動物が共存して生きる豊かな社会の構築は、広く国民の生活と社会全体の質の向上につながります。動物福祉・愛護精神の一層の普及は、市民生活の向上と動物関連産業基盤全般の発展に貢献します。これらを目的とする動物感謝デー事業を、本会では公益法人としての普及啓発事業の中核として位置付けています。

つきましては、関係省庁・自治体・関係機関はじめ、動物関連企業・団体・機関の皆様におかれましては、動物感謝デーの趣旨をご理解の上、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

令和８年４月

2026動物感謝デーin JAPAN実行委員会

委員長　藏内勇夫

(公益社団法人　日本獣医師会会長)

# 2026 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”
# 開　催　概　要

１　名　　称

２０２６（にーまるにいろく）動物感謝デー in JAPAN“World Veterinary Day”

２　開催目的

獣医師、獣医療の果たすべき社会的役割とともに、動物の社会参加の促進のための動物の福祉と愛護精神の高揚を図り、また、広く一般市民に普及・啓発することにより、獣医事並びに動物の福祉及び適正飼養に関する施策推進を通じ、人と動物が共生する豊かで健全な社会の形成に寄与することを目的とする。

３　テ ー マ

「― 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。―」

４　日　　時

令和８年 11 月 14 日（土）　10：00～16：00

５　場　　所

上野恩賜公園（水上音楽堂及び不忍池周辺）

※動物愛護週間中央行事（屋外行事）同時開催

６　主な開催内容

協賛・後援企業・団体・獣医学系大学等によるステージ企画及びブース展示・物品頒布企画、動物ふれあいコーナー（動物とのふれあいと獣医師によるふれあい指導）、一日獣医師体験講座、獣医師の役割紹介、獣医学生コーナー、獣医師による家庭動物の飼育相談、地方獣医師会による展示（動物医療関係展示、動物飼育関係展示、動物愛護関係展示、安全で質の高い畜産物の生産に係る展示）等

７　来場予定人数

一般市民、小・中・高校生、獣医学系大学及び愛玩動物看護師養成機関在学生、獣医療関係者（獣医師・愛玩動物看護師等）、動物関連業界関係者等　約 5,000 名

８　主　　催

公益社団法人　日本獣医師会

〒107-0062　東京都港区南青山 1-1-1　新青山ビル西館 23 階

TEL：03-3475-1601　FAX：03-3475-1604

ｅ-mail：doubutsu@nichiju.or.jp

URL：http://nichiju.lin.gr.jp/

９ 後 援（前回開催時：2025 年実績）

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、
内閣府食品安全委員会、東京都、台東区、
世界獣医師会、公益社団法人日本獣医学会、公益社団法人日本動物病院協会、
一般社団法人動物看護師統一認定機構、一般社団法人日本愛玩動物看護師会
ヒトと動物の関係学会、動物 ID 普及推進会議（AIPO）

10 特別協賛（前回開催時：2025 年実績）

共立製薬株式会社
日本全薬工業株式会社
ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社
株式会社ベネッセコーポレーション

いのちみつめる。いのち育む。

公益社団法人 日本獣医師会

[問合せ先]
公益社団法人日本獣医師会　　動物感謝デー事務局　(担当：松岡、原、畠山、榊原、猪俣)
〒107-0062　東京都港区南青山 1-1-1　新青山ビル西館 23 階
TEL：03-3475-1601　FAX：03-3475-1604　e-mail：doubutsu@nichiju.or.jp
イベントホームページ URL　：　http://doubutsukansha.jp/